

神奈川ME-BYOリビングラボ実証事業を実施します！ 健康活動に応じたインセンティブによる行動変容の可能性を検証

県は、富士通株式会社から県民の未病改善を促す実証事業の提案を受け、「神奈川ME-BYOリビングラボ(※)」で採択しました。

今回の事業では、「健康活動」と「社会貢献活動」によるインセンティブモデルの構築に向け、介護付き有料老人ホームの入居者を対象に専用アプリを提供し、健康活動に応じて付与されるポイントを貯める「ゲーム性」により意欲向上を図るインセンティブモデルの有用性を検証します。なお、本事業は、神奈川県、東海大学など様々な主体が参画する産官学連携事業として実施します。

1 実証事業の概要

- (1) 実証事業者：富士通株式会社(東京都港区、研究責任者及び実施者)
- (2) 事業協力者：東海大学医学部(伊勢原市、全体的支援及び運営管理)・健康学部健康マネジメント学科(平塚市、全体的支援及び運営管理)
- (3) テーマ：インセンティブが健康活動に及ぼす影響度に関する評価研究
- (4) 実施場所：横浜市内の有料老人ホーム
- (5) 対象者：年齢 65 歳以上 95 歳以下の施設入居者で、介護度が自立・要支援1から要介護2の方(男女不問)、予定参加者数 30 名
- (6) 実施期間(予定)：平成 31年1月から平成 31 年2月まで
- (7) 事業内容

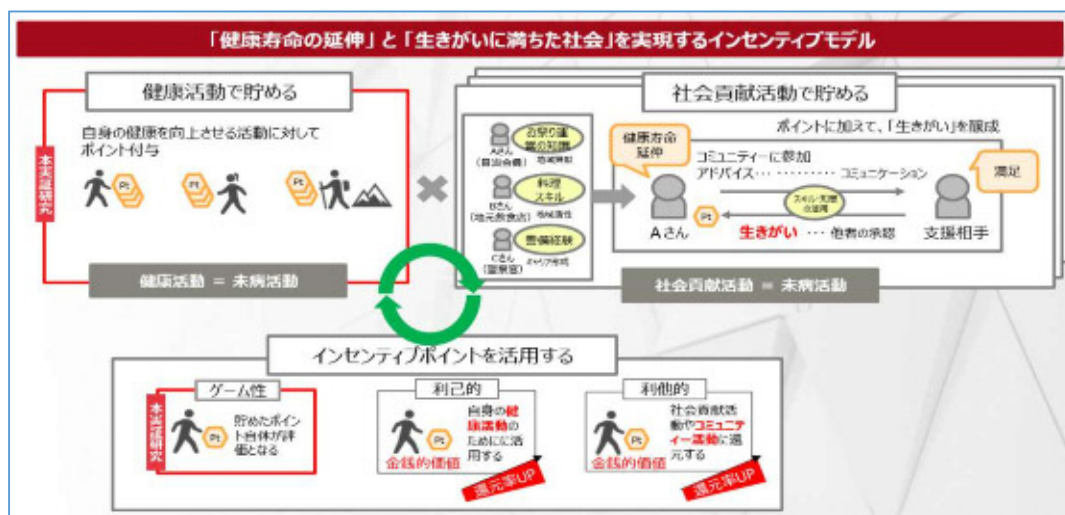
参加者を、健康活動に応じてポイントを付与するグループと付与しないグループの2群に分け、ポイント付与の効果を、①歩行運動、②健康気づきチェック、③日常活動、④意欲における変化の差異により評価します(ランダム化比較対照試験)。



項目	内容
運動能力測定 (事業開始時及び終了時)	握力、10秒椅子立ち上がりテスト、バランステストなどの測定を行う。
日常活動及び意欲のアンケート (事業開始時及び終了時)	健康に対する意識や実際に行っている活動内容、イベントの参加状況等の把握をアンケート形式で実施する。
健康気付きチェック (事業開始から終了まで1か月、毎日)	1日2回、生活状況や体調等の把握を、スマートフォン上に設問を表示させて選択式(3~4択)で実施する。
歩行の計測 (事業開始から終了まで1か月、毎日)	歩行運動を中心的健康活動とし、スマートフォンで歩数の計測を行う。
インセンティブポイントの付与 (事業開始から終了まで1か月、毎日)	歩行運動の実施(目標の達成度や継続ボーナス)と健康気付きチェックへの回答に対してポイントを付与する。

2 実証事業が目指すインセンティブモデル

ICT技術を駆使して、個人の未病活動(健康活動・社会貢献活動)が「身体的な健康」のみならず、「生きがい」による「心理的な健康」をもたらす仕組みを構築し、「健康寿命の延伸」と「生きがいに満ちた社会」の実現を目指します。ポイント付与の対象は、本事業では「個人の健康活動」のみとしましたが、他者とのコミュニケーションの場づくりにつながる「社会貢献活動」にまで広げ、貯まったポイントを「自分」だけでなく、「他者(家族、友人、社会サービス、寄付など)」のためにも使うことができるモデルとします。



(※) 神奈川 ME-BYO リビングラボとは、県民が安心して未病改善に取り組むとともに、未病産業の持続的発展を促すため、県が市町村やCHO構想(健康経営)を実践する企業等と連携して、県民参加の実証フィールドを創出し、未病関連商品・サービスの検証・評価を行う仕組み

問合せ先

神奈川県政策局ヘルスケア・ニューフロンティア推進本部室

次世代社会システム担当課長 市川 電話 045-210-2710

次世代社会システムグループ 齊藤 電話 045-285-0778